

浦添選抜健闘3位

ハンドボール

全国中学JOC

中学ハンドボールの第25回JOCジュニアオリンピックカップは26日、浦添市民体育館で行われ、開催地枠で出場の浦添市選抜男子が3位入賞した。決勝ト

ナメント1回戦で香川選抜を20-19で下し、準決勝で福岡選抜に23-24で惜敗した。

最終日の27日、同会場で男子の大分・福岡、女子の熊本・大分の決勝を行う。

GKが奮闘した。16歳以下日本代表の西原雄聖は1回戦の香川戦で、顔面でシュートをブロックした際に転倒して離脱したが、準決勝で復帰。フリーのシュートを何度も止めるなどチームを鼓舞した。

浦添市 207 13 9 10 19 香川

▽同連決勝

福岡 24 13 11 12 11 23 浦添市

守護神2人奮闘

西原と東江

○…浦添市選抜の2人の



浦添市一福岡 前半、浦添の平田玲がシュートを放つ＝浦添市民体育館（喜屋武綾菜撮影）



3位入賞した浦添市

昨年は予選リーグ敗退だった。「優勝が一番いいが、ベスト4と結果を残せた。きょうは守りの弱さが出

た。もっと指示できるようなりたい」と前を向く。西原の穴を埋めた東江大は、今大会が初の全国だ

重圧耐え1点差惜敗

開催地の誇りを懸け、重く勝者をほうぜんと思つめ、長嶺重信監督は「全国4強の壁を越える準備をしてきたが、相手の攻撃を組み合わせる力が上だつた。選手たちは本気で頑張つた」とねぎらつた。我優比へのシーソーゲー

ム。勝敗を分けたのは最終盤のシュートの成否だつた。浦添市選抜は2人ポストで福岡の守りを抜け、上からフローター陣が決める攻撃がさえ、後半残り5分余で22-21とリード。タイムを取って攻撃の形を確認したが、2連続でシュートを外したのに対し、福岡に2連続得点を許して22-23とひっくり返された。

さらに残り1分、ポストを使ったサインプレーで豪快にネットを揺られ、反撃及ぼす。9得点の伊禮雅太主将は「守りであまりかす、速攻が出なかつた。競つた時にシュートミスが出た」と肩を落とした。開催地枠で予選がないため、チームにとって今大会が初の公式戦だった。一戦一戦成長してつかなか3位。終了間際に意地の23点目を挙げた知念征吾は「悔しさを胸に、高校では必ず全国制覇する」との経歴を糧にする。（大門雅子）